

瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

年 月 日

申請者の住所及び氏名（法人にあつては所在地、名称、代表者名）

工場又は事業場の所在地及び名称

1 許可申請書の概要

(1) 特定施設設置(変更)の理由及び内容

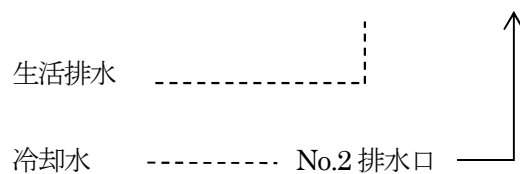
(2) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少(変らず)の場合は理由

2 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

(1) 別図1, 2のとおり

(2) 排水系統及び水系図の略図

(例) ○○工程→××排水処理施設→No.1 排水口→△△川→瀬戸内海(◎◎湾)



3 工場又は事業場の各排水口における排水水の汚染状態の通常値及び最大の値

当該排水水の1日あたりの通常値及び最大の値並びに当該排水水の汚濁負荷量

排水口	区分 項目	現 状			設 置 (変更) 後			負荷量 の増減
		通 常	最 大	※負荷量	通 常	最 大	※負荷量	
No.1	排出量(m ³ /日)							
	pH (－)							
	BOD (mg/L)							
	COD (mg/L)							
	S S(mg/L)							
	油 分 (mg/L)							
	大腸菌数(CFU/mL)							
	T-N (mg/L)							
	T-P (mg/L)							
No.2	排出量(m ³ /日)							
	pH (－)							
	BOD (mg/L)							
	COD (mg/L)							
	S S(mg/L)							
	油 分 (mg/L)							
	大腸菌数(CFU/mL)							
	T-N (mg/L)							
	T-P (mg/L)							
現状と 変更後 の比較	排出量(m ³ /日)							
	pH (－)							
	BOD (mg/L)							
	COD (mg/L)							
	S S(mg/L)							
	油 分 (mg/L)							
	大腸菌数(CFU/mL)							
	T-N (mg/L)							
	T-P (mg/L)							

※負荷量(kg/日)＝最大排出量(m³/日)×通常水質(mg/L)×10⁻³

4 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項 目	基準値	項 目	基準値
カ ド ミ ウ ム	0.003 以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下
全 シ ア ン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01 以下
鉛	0.01 以下	テトラクロロエチレン	0.01 以下
六 価 ク ロ ム	0.02 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 以下
ひ 素	0.01 以下	チ ラ ウ ム	0.006 以下
総 水 銀	0.0005 以下	シ マ ジ ン	0.003 以下
ア ル キ ル 水 銀	検出されないこと	チ オ ベ ン カ ル ブ	0.02 以下
P C B	検出されないこと	ベ ン ゼ ン	0.01 以下
ジ ク ロ ロ メ タ ン	0.02 以下	セ レ ン	0.01 以下
四 塩 化 炭 素	0.002 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 以下	ふ つ 素	0.8 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下	ほ う 素	1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下	1 , 4 - ジ オ キ サ ン	0.05 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 以下		

(注1) 単位は mg/L

(注2) 「検出されないこと」とは、別に示す方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。

(定量限界は、全シアン 0.1mg/L、アルキル水銀及び PCB0.0005 mg/L)

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川、海域名					
環 境 基 準 点					
環 境 基 準 類 型					
基 準 値	水 素 イ オ ン 濃 度				
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)				
	化学的酸素要求量 (mg/L)				
	浮 遊 物 質 量 (mg/L)				
	溶 存 酸 素 量 (mg/L)				
	大 腸 菌 数 (CFU/100mL)				
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)				

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

5 周辺公共用水域の水質の現状及び排水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

(1) 海 域

採水機関名		分析機関名	
-------	--	-------	--

測 定 点 名											
採水年月日及び時間			項目 区分	水 温 (℃)	p H (－)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T－N (mg/L)	T－P (mg/L)	
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層									
		中 層									
		平 均									
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層									
		中 層									
		平 均									
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層									
		中 層									
		平 均									
総 平 均											
将 来 水 質											

測 定 点 名											
採水年月日及び時間			項目 区分	水 温 (℃)	p H (－)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T－N (mg/L)	T－P (mg/L)	
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層									
		中 層									
		平 均									
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層									
		中 層									
		平 均									
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層									
		中 層									
		平 均									
総 平 均											
将 来 水 質											

測 定 点 名	
---------	--

採水年月日及び時間			項目 区分		水温 (℃)	p H (－)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T－N (mg/L)	T－P (mg/L)	
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層										
		中 層										
		平 均										
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層										
		中 層										
		平 均										
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層										
		中 層										
		平 均										
総 平 均												
将 来 水 質												

(2) 河 川

採水機関名						分析機関名						
水域測定点名			項目		p H (－)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T－N (mg/L)	T－P (mg/L)		流 量
			区分									
			月 日	：								
				：								
				：								
			平 均									
将 来 水 質												
			月 日	：								
				：								
				：								
			平 均									
将 来 水 質												
			月 日	：								
				：								
				：								
			平 均									
将 来 水 質												

(3) その他当該水域に関する事項

(4) 予測の方法

① 汚濁負荷量の増加の有無 (有 ・ 無)

(ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は、②以下は省略する。)

② 排出水の公共用水域での影響範囲

③ 予測の手法 (海域)

(1) 新田式($\text{Log}(r^2 \theta / 2) = 1.226 \text{Log} Q + 0.086$)から求めた周辺公共用水域の外縁までの距離(r)は、 $\quad$ mです。

(注) $\theta = \quad$ (拡散角度)

$Q = \quad$ $\text{m}^3 / \text{日}$ (最大排出量)

(2) ヨーゼフ・ゼントナー式($C = 1 - \exp\{-\frac{Q_0}{\theta dp}(\frac{1}{x} - \frac{1}{l})\}$)から求めた希釈率(C)

は次のとおりです。

C ($r / 3$ の地点) =

C ($2 r / 3$ の地点) =

C (r の地点) = 0

(注) $Q_0 = \quad$ $\text{m}^3 / \text{日}$ (最大排水量)

$\theta = \quad$ (拡散角度)

$d = \quad$ 2 m

$p = \quad$ 8 6 4 $\text{m} / \text{日}$

$x = \quad$ m、 $\quad$ m ($r/3$ 、 $2r/3$ の距離)

$L = \quad$ m (r の距離)

(3) $S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$ から将来の水質を予測すると、

(r/3 の地点)

$$S'(\text{COD}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

(2r/3 の地点)

$$S'(\text{COD}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

(r の地点)

$$S'(\text{COD}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{SS}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-N}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

$$S'(\text{T-P}) = \quad + (\quad - \quad) =$$

④ 予測の手法 (河川)

$$S' = \frac{S \cdot Q + (S_0 Q_0 - S'_0 Q'_0)}{Q + (Q_0 - Q'_0)} \text{ から将来の水質を予測すると、}$$

地点名 ()

$$S'(\text{BOD}) = \text{—————} =$$

$$S'(\text{COD}) = \text{—————} =$$

$$S'(\text{SS}) = \text{—————} =$$

$$S'(\text{T-N}) = \text{—————} =$$

$$S'(\text{T-P}) = \text{—————} =$$

地点名 ()

S'(BOD) = _____ =

S'(COD) = _____ =

S'(SS) = _____ =

S'(T-N) = _____ =

S'(T-P) = _____ =

地点名 ()

S'(BOD) = _____ =

S'(COD) = _____ =

S'(SS) = _____ =

S'(T-N) = _____ =

S'(T-P) = _____ =

- 6 その他当該特定施設の設置等が環境に及ぼす影響についての事前評価に関する参考となるべき事項